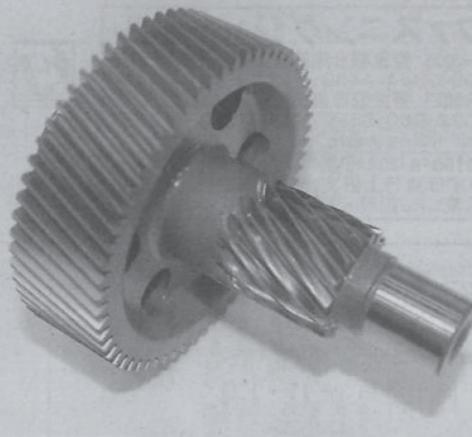


世界初3D歯車創成加工技術 装置開発

経産大臣賞にジェイテクト

第56回機械振興賞表彰

一般財団法人機械振興協会(釜和明会長)では第56回(令和3年度)機械振興賞の受賞者を決定した。今年度は経済産業大臣賞一件、中小企業庁



加工品サンプル

た。高精度の歯車加工が行える3次元創成歯車加工技術を世界で初めて実用化し、今後のEV生産に大いに貢献する事が期待できる点を高く評価されたものとなる。

なお、表彰式は2月22日に機械振興会館ホール(東京都港区芝公園)で執り行う予定であるが、今後の新型コロナウイルス感染症拡大状況により変更の可能性がある。

機械振興賞の表彰対象は、獨創性、革新性及び経済性に優れた機械工業技術に係る研究開発及びその成果の実用化により新製品の製造、製品の品質・性能の改善又は生産の合理化に顕著な業績をあげたと認められる企業等及び研究開発担当者、および昨年度より新設された中小企業基盤整備機

構理事長賞(今年度は該当なし)では中小企業の事業を支援してきた支援機関の担当者となる。

従来の機械振興協会賞(昭和41年度創設)と中堅・中小企業機械開発賞(昭和45年度創設)を統合し、平成15年度に発足

した新機械振興賞を改名したもの。開催回数も機械振興協会賞(第1回〜第37回)と新機械振興賞(第1回〜第15回)の回数を引き継いだ一昨年度から3年度目になる。

今回の受賞者はつぎのとおり。業績名、企業名の順。

【研究開発】
経済産業大臣賞 3D歯車創成加工技術と高精度スカイピング加工機の開発、(株)ジェイテクト。
中小企業庁長官賞 2ホイスの制約がない高粘度液移送システムの開発、兵神装備(株)。

機械振興協会会長賞 2グループ式パワーアシスト荷役物運搬機の開発、アイコクアルファ(株)。
多種素材に対応する串刺食品製造装置(団子製造機)の開発、(株)飯田製作所。
高効率超狭開先溶接システムの開発、JFEスチール(株)、(株)永井製作所、ヤマネ鉄工建設(株)。
高性能冷却装置の開発、TMTマシナリー(株)。
第2世代燃料電池駆動システムの開発、トヨタ自動車(株)。
非破壊(小径)金属パイプ内面粗さ測定機、二九精密機械工業(株)。
審査委員長特別賞 振動可視化レーダの開発、アルウェットテクノロジ(株)。
奨励賞 重力を利用した水中酸素溶解技術と装置の開発、安原環境テクノロジ。